

## ◇令和2年度の岩内町立岩内小中学校運営協議会

令和元年度7月に岩内町立岩内小中学校運営協議会が設立されました。岩内町では、東地区(岩内東小・岩内一中)と西地区(岩内西小・岩内二中)の2つの地区に分けて会議を行っております。令和元年度は、それぞれ計3回の会議を行い、学校評価の結果や各学校の取組を共有し意見交流等を行ってきました。今回は、学校運営協議会の今後について推進委員会で提案がありましたのでお知らせいたします。

### 地域社会との連携を！

1月に行われた推進委員会で、今後の学校運営協議会について次のような提案がありました。

#### ①コミュニティ・スクールの機能拡充を目指す

子どもたちの学びの幅を広げるため、学校運営協議会と地域社会の連携をとっていきたい。現在、学校運営協議会では各校の評価や取組など共有し意見交流を行っています。意見交流の中には「〇〇の交差点は交通量が多く、登下校中の児童生徒が心配だ。」や「地域の人が学校に行き、子どもたちに特技等を紹介してみては。」という話がありました。それらを実現するためには、地域社会の方のお力が必要となってきます。もうすでに、地域社会の方にボランティアとして協力をいただいている学校もあります。(朝の交通安全指導や児童生徒への読み聞かせ等)今後もさらに子どもたちの学びの幅を広げるため、より多くの地域団体と連携を取り、コミュニティ・スクールとしての機能拡充を目指していきたい。

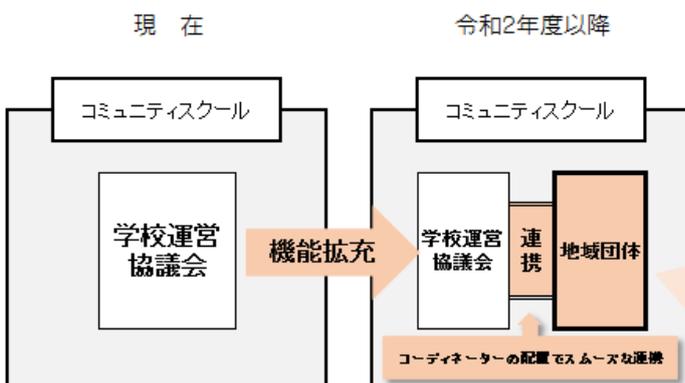
#### ②コーディネーターの配置を

学校運営協議会と地域社会がスムーズに連携がとれるよう、コーディネーターの配置をしていきたい。コーディネーターの主な役割は、運営協議会で立案された企画に協力をしていただける地域団体の確保、いつその企画を行えるのかなどの日程調整を主に行います。

#### ③まとめ

上記の2点が推進委員会で提案された「今後の学校運営協議会について」になります。令和2年度は岩内町の子どもたちのために様々な取り組みを地域の皆さんと考え、学校に反映していきたいですね！

#### 【イメージ図】



#### 令和2年度のコミュニティスクール(例)

- ①学校運営協議会で協議を行う。  
⇒スキー学習の支援員が欲しいという案が出る。
- ②コーディネーターが条件に合った支援員を探す。
- ③コーディネーターが日程等を調整する。
- ④スキー授業で支援員が配置される。  
⇒子供たちが楽しく安全にスキー学習ができる。  
⇒教職員の負担軽減。  
⇒**地域とともにつくる学校へ!**